

1年2組 くみだて、つなげて、スッキリ！！ ～ブロックじゅぎょう～

〈授業像に込められた願い・・・〉

ブロックは、子供たちが幼稚園や保育園で遊んだお気に入りのおもちゃである。1つ、1つのブロックを自由に組み立てたり、つなげたりすることで、子供たちは自分のイメージしたものを作り出す楽しさを味わってきた。

小学生となった子供たちにとって、学校生活は授業が中心である。1年2組の子供たちは、「授業は新しいことを勉強する、うきうき楽しい時間である」と考えている。授業を通して、学ぶ楽しさやできるようになった喜びを味わいたいと感じている。そのような授業を実践するために、「みんなで話し合い、聴き合い、高め合う姿」を目指している。自分の考えや友達の意見を大切に話し合い、聴き合うことで、学級全体の考えが深まったとき、みんなで学ぶ楽しさや分かった喜びを実感するであろう。

「くみだて、つなげて、スッキリ！！～ブロックじゅぎょう～」は、園児であった子供たちがブロックを使って夢中になって遊び、完成すると目を輝かせて喜んだ姿である。小学生となった今、その生き生きと輝く姿は、授業での学び合う姿である。18人で考えを出し合い、広げることで深め合っていく授業は、課題が解決できた喜びや楽しさを感じ、すっきりとした気持ち良さを感じることができる。「くみだて、つなげて、すっきり！！～ブロックじゅぎょう～」の実践を通して、授業でも子供たち一人ひとりがよさを発揮できる学級を築き、子供たちの自己肯定感を育てていきたい。

目指す授業の実現に向け、まずは学級づくりを行っていく。「存在感、共感、達成感」を得られる学級であり、授業となるように、手立てを考え実践していく。